

【ミッション・目標】

当研究部のミッションは、成育医療および保健に関連する情報を収集し分析することで、健全な次世代育成に資する政策提言・情報発信・研究活動を行うことである。根拠に基づく政策の枠組みが変化中、それに合わせるように、研究の方向性として、以下の四つの柱を立てて研究している。

第一の柱：成育医療・保健の政策に関する理論的研究

成育医療や保健分野の特徴を踏まえつつ、医療や保健政策の在り方や、適切な政策選択、政策の意思決定など、理論的研究を行っている。

第二の柱：系統的レビュー（コクランレビュー）をはじめとする研究統合的研究の推進

成育医療やより広く健全な次世代育成のための科学的根拠に関して、最新の検索技術を行う網羅的に検索し、根拠の質を系統的に分析し、統合的な分析手法（メタ解析）を行っている。根拠に基づく政策のための根幹部分を示し、費用対効果分析など決断分析あるいは患者一般参画、客観的総意形成法の実施やその支援を通じて、政策や診療に直結する研究成果の創出を目指している。また、それらの結果をもとに、医療者や研究者向けのみならず、一般の方々に対する情報発信を行っている。

第三の柱：成育医療・保健に係るデータベースの構築と利活用

新生児医療疾病登録や妊娠合併症疾病登録のデータベース、さらには政府統計なども含め、成育医療・保健に関連したデータベースを構築し、データベース間の連結を行っている。必要に応じて政策に資する一次データの収集を疫学研究フィールドで行い、高度な統計分析を行うことで、現状を明らかにし、新たな治療法や政策への端緒、あるいは政策の評価となる研究を行っている。

第四の柱：成育医療・保健の介入研究を含めた政策評価

政策介入の代表的研究デザインであるランダム化比較試験などを用いて、成育医療や保健に関する介入の評価を行っている。また、当研究部は、国立成育医療研究センター病院や他の大学をはじめ、国内外から多数の医師・研究者が当研究部の共同研究員として研究を行っている。

【研究プロジェクト】

1. コクラン共同計画・NPO 法人コクランジャパンとの連携
2. 全国周産期医療施設データベースと国際連携
3. 妊産婦のメンタルヘルスに関する研究
4. 妊産婦のパートナーのメンタルヘルスや健康状態に関する研究

5. 世界保健機関・周産期ガイドライン作成 (G.R.E.A.T Project)
6. 世界保健機関・世界周産期調査
7. 費用対効果分析と根拠に基づく医療政策に関する理論的研究
8. モンゴル国母子健康手帳の評価と出生コホート研究
9. モンゴル国における運動介入と脳機能の関連に関する介入研究
10. バングラデシュ国地域および施設連携介入による母児の健康改善に関する研究
11. 世界における疾病負担の推測に関する研究
12. 慢性疾患を有する子どもの健康と福祉に関する総合評価に関する研究
13. アンゴラにおける母子健康手帳の有効性に関する介入研究
14. ナイジェリアにおける妊婦の栄養状態と体重増加や母児の健康に関する研究
15. 小児・思春期における健康課題の抽出に関する研究
16. 子どもにおける Well-being や DALY (障害調整生命年) の開発に関する研究

【研究体制】

部長：森臨太郎（～平成 30 年 11 月 25 日）

室長：蓋若琰（～平成 30 年 12 月 31 日）

室長：竹原健二

研究員：Olukunmi Balogun, 須藤茉衣子（平成 29 年 7 月～）、山本依志子（平成 29 年 10 月～）、佐々木八十子（～平成 30 年 3 月）、Celine Miyazaki（平成 30 年 7 月）、Chibueze Chioma Ezinne（～平成 30 年 6 月）、西田俊彦（～平成 30 年 5 月）、川崎麻紀、辻麻理子（平成 30 年 9 月～）

客員研究員：大田えりか（聖路加国際大学大学院国際看護学教授）

共同研究員：諏訪敏幸（大阪大学大学院）、澤田樹美（名古屋女子大学）、橋本直也（株式会社 Kids Public）、岡田理子、柳川侑子（東京大学大学院）、鈴木博道（NPO 日本コ克蘭センター）、森桂（厚生労働省医政局）、Ganchimeg Togoobaatar（筑波大学大学院）、山本周平（信州大学医学部付属病院）、豊島義博（鶴見大学）、芹澤優子（株式会社読売プラス）、安藤友久（株式会社 Kids Public）、Syed Emdadul Haque(UChicago Research Bangladesh)、友 Caroline 香織（東京大学大学院）、Mo Xiuting（京都大学大学院）、片岡智恵美、瀬川道和子、久貝太麻衣、茂木成美（京都大学大学院）、田中俊之、青木藍（東京大学大学院）、藤牧須美枝、Tippawan Liabsuetrakul、新村美知、佐伯雅代

研究補助員：小坂菜美（平成 30 年 9 月～）

研究・事務補助者：佐野留理子（～平成 30 年 3 月）、明田美和子、渡邊晴子（～平成 30 年 3 月）竹中京姫（～平成 30 年 7 月）、保田桂、清水友里加（～平成 30 年 10 月）、渡邊康子（平成 30 年 10 月～）、清水桃子（平成 30 年 11 月～）

【国際共同研究】

- コクラン共同計画
- 世界保健機関
- バングラデシュ国際下痢性疾病研究所
- 国際協力機構
- ロンドン大学教育学研究所
- カナダ新生児ネットワーク
- モンゴル国立母子保健センター
- モンゴル体育大学
- モンゴル国保健省
- アンゴラ国保健省
- ユニセフ
- 上海小児病院
- アブジャ医科大学（ナイジェリア）

【国内共同研究】

- 日本公衆衛生協会
- 東京都世田谷区
- 愛知県西尾市
- 東京大学
- 京都大学
- 長崎大学
- 東京女子医科大学
- 北海道大学
- 札幌医科大学
- 旭川医科大学
- 筑波大学

【研究の概要】

1) コクラン共同計画・NPO 法人コ克蘭ジャパンとの連携

NPO 法人コ克蘭ジャパンなどと連携し、コ克蘭レビューの作成法に関するワークショップを開催して国内外の研究者がコ克蘭レビューを作成するための支援を行いつつ、研究部から成育医療に関する最新の科学的根拠をコ克蘭レビューの形でまとめ、世界に発信している。

2) 全国周産期医療施設データベースと国際連携

日本未熟児新生児学会と連携して、全国新生児医療施設の極低出生体重児の疾病登録に関して、診療の質向上に関連したデータ分析と、診療の質向上パッケージによるクラスターランダム化比較試験に貢献している。また、本データベースの日本代表として、10の先進国の同様の疾病登録と連携して国際共同研究を行っている。

3) 妊産婦のメンタルヘルスに関する研究

世田谷区と西尾市において、妊産婦の妊娠期から産褥期におけるメンタルヘルスに関する **population-based** な縦断調査を行っている。得られた結果をもとに、産後2週時の健診の導入につなげるなどの政策提言をおこなっている。

4) 妊産婦のパートナーのメンタルヘルスや健康状態に関する研究

妊産婦同様に、そのパートナーも産前・産後がメンタルヘルス不調のリスクが高くなることや、パートナーのメンタルヘルスは不適切な育児につながることを疫学調査により明らかにした。また、妊娠期からの教育・情報提供による予防介入の効果に関する系統的レビューや無作為化比較試験をおこなっている。

5) 世界保健機関・周産期ガイドライン作成 (G.R.E.A.T Project)

世界保健機関による妊婦検診に関するガイドラインなど、周産期医療分野のガイドライン作成に貢献している。

6) 世界保健機関・世界周産期調査

世界29か国で同時に行う、周産期医療の横断調査の日本担当として、調査に協力し、全体の分析も行っている。

7) 費用対効果分析と根拠に基づく医療政策に関する理論的研究

医療的介入に関する費用対効果分析を行うと同時に、診療ガイドラインや医療政策における費用対効果分析の役割、さらに根拠に基づく医療の新しい枠組みに関して理論的研究を行っている。質調整生存年 (QALY) を算出するための手法の開発や、国内外の疫学フィールドにおける調査における医療技術評価を行っている。また、ロンドン大学教育学研究所と理論的研究の系統的レビューに関する共同研究を行っている。

8) モンゴル国母子健康手帳の評価と出生コホート研究

モンゴル国における母子健康手帳の効果についてクラスターランダム化比較試験にて評価するとともに、出生コホート研究を立ち上げ、生後5年時まで追跡を行い、モンゴルの子どもの健康に関連する要因を明確化し、政策に資する研究を行っている。

9) モンゴル国における運動介入と脳機能の関連に関する介入研究

モンゴル体育大学、筑波大学と共同で、ウランバートル市の一つの地区にあるすべての公立小学校を対象に、高強度インターバルトレーニング理論による短時間の運動を定期的に実施することによる、脳機能や学力、心身の健康状態への影響についてクラスターランダム化比較試験を実施している。

10) バングラデシュ国地域および施設連携介入による母児の健康改善に関する研究

JICA およびバングラデシュ国際下痢性疾病研究所 (ICDDR,B) と連携して、バングラデシュ国における地域介入と施設マネジメント能力強化の連携による母児の健康改善に関する研究を行っている。

11) 世界における疾病負担の推測に関する研究

世界保健機関および世界銀行が開始し、ワシントン大学、ランセット誌、ゲイツ財団などが主宰する世界の疾病負担プロジェクトにおいて、特に新生児領域の疾病負担に貢献し、新生児黄疸の疾病負担推測に関するプロジェクトを主導した。

12) 慢性疾患を有する子どもの健康と福祉に関する総合評価に関する研究

慢性疾患や障がいをもつ子どもたちの総合的な健康や福祉に関する指標や評価法の開発を行うとともに、それらの評価指標を用いて、慢性疾患を有する子どもたちの **well-being** 向上のための実態調査等を進め、養育・療育における子どもたちの権利擁護の観点を踏まえた政策の提案を行っている。

13) アンゴラにおける母子健康手帳の有効性に関する介入研究

JICA の母子保健プロジェクトの一環として、アンゴラ国保健省とともに、母子健康手帳の導入・配布が継続的な母子保健サービスや母子の健康状態に与える効果について、クラスター無作為化比較試験による評価を計画・実施している。

14) ナイジェリアにおける妊婦の栄養状態と体重増加や母児の健康に関する研究

妊娠糖尿病が妊娠中の体重増加や母児の出生時のアウトカムに及ぼす影響について、ナイジェリアのアブジャ医科大学と共同で、妊婦を追跡する縦断研究を実施している。

15) 小児・思春期における健康課題の抽出や科学的根拠の整理に関する研究

わが国における子どもの身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial) な健康課題を抽出することを目的に、その疫学的特徴を年齢別に把握するとともに、各健康課題に応じた保健指導や予防的介入方法に関する科学的根拠をまとめている。

16) 子どもにおける Well-being や DALY（障害調整生命年）の開発に関する研究
疾患が子どもの健康に与える影響の大きさの可視化や well-being の評価に向けて、子どもにおける各疾患の Disability weight と NDB データを用いた有病率をもとにした DALY の算出、および、小児における QOL の評価指標である CHU-9D の日本語版の開発に取り組んでいる。

【平成 29 年研究業績】

1. 【誌上発表】

1) 【英文原著】

1. *Balogun OO, Dagvadorj A, Yourkavitch J, Da Silva Lopes K, Suto M, Takemoto Y, Mori R, Rayco-Solon P, Ota E. Health Facility Staff Training for Improving Breastfeeding Outcome: A Systematic Review for Step 2 of the Baby-Friendly Hospital Initiative. *Breastfeed Med.* 2017;12(9):537-46. DOI: 10.1089/bfm.2017.0040
2. *Chibueze EC, Parsons AJQ, Da Silva Lopes K, Yo T, Swa T, Nagata C, Horita N, Morisaki N, Balogun OO, Dagvadorj A, Ota E, Mori R, Oladapo OT. Diagnostic Accuracy of Ultrasound Scanning for Prenatal Microcephaly in the context of Zika Virus Infection: A Systematic Review and Meta-analysis. 2017;7(1):2310. DOI: 10.1038/s41598-017-01991-y
3. *Chibueze EC, Tirado V, Da Silva Lopes K, Balogun OO, Takemoto Y, Swa T, Dagvadorj A, Nagata C, Morisaki, N, Menendez C, Ota E, Mori R, Oladapo OT. Zika virus infection in pregnancy: a systematic review of disease course and complications. *Reproductive Health.* 2017;14(1):28. DOI: 10.1186/s12978-017-0285-6
4. GBD 2016 Risk Factors Collaborators (Tobe RG). Global, regional, and national comparative risk assessment of 84 behavioural, environmental and occupational, and metabolic risks or clusters of risks, 1990-2016: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2016. *The Lancet.* 2017;390(10100):1345-422. DOI: 10.1016/S0140-6736(17)32366-8
5. GBD 2016 Causes of Death Collaborators (Tobe RG). Global, regional, and national age-sex specific mortality for 264 causes of death, 1980-2016: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2016. *The Lancet.* 2017;390(10100):1151-210. DOI: 10.1016/S0140-6736(17)32152-9
6. Da Silva Lopes K, *Ota E, Shakya P, Dagvadorj A, Balogun OO, Peña-Rosas JP, De-Regil LM, Mori R. Effects of nutrition interventions during pregnancy on low birth weight: an overview of systematic reviews. *BMJ Global Health.* 2017;2(3):e000389. DOI: 10.1136/bmjgh-2017-000389
7. da Silva Lopes K, Takemoto Y, Ota E, Tanigaki S, *Mori R. Bed rest with and without hospitalisation in multiple pregnancy for improving perinatal outcomes. *The Cochrane Library.* 2017. DOI: 10.1002/14651858.CD012031.pub2
8. Dagvadorj A, Nakayama T, Inoue E, Sumya N, *Mori R. Cluster randomised controlled trial showed that maternal and child health handbook was effective for child cognitive development in Mongolia. *Acta Paediatrica.* 2017. DOI: 10.1111/apa.13864
9. Delaney H, Modi N, Shoo K L, Isayama T, Gunnar S, Gagliardi L, Lehtonen L, Vento M, Kusuda S, Bassler D, Mori R, Brian R, Hakansson S, Darlow BA, Mark A, Rusconi F, Feliciano LS, Lui K, Morisaki N, Musrap N, *S. Shah P. Scoping review shows wide variation in the definitions of

- bronchopulmonary dysplasia in preterm infants and calls for a consensus. *Acta Paediatrica*. 2017. DOI: 10.1111/apa.13672
10. Endo I, *Takada T, Hwang TL, Akazawa K, Mori R, Miura F, Yokoe M, Itoi T, Gomi H, Chen MF. Optimal treatment strategy for acute cholecystitis based on predictive factors: Japan - Taiwan multicenter cohort study. *Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences*.2017. DOI: 10.1002/jhbp.456
 11. GBD 2015 Healthcare Access and Quality Collaborators (Mori R). Healthcare Access and Quality Index based on mortality from causes amenable to personal health care in 195 countries and territories, 1990–2015: a novel analysis from the Global Burden of Disease Study 2015. *The Lancet*. 2017;390(10091):203-332. DOI: 10.1016/S0140-6736(17)30818-8
 12. GBD 2016 DALYs and HALE Collaborators (Mori R, Tobe RG). Global, regional, and national disability-adjusted life-years (DALYs) for 333 diseases and injuries and healthy life expectancy (HALE) for 195 countries and territories, 1990-2016: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2016. *The Lancet*. 2017;390(10100):1260-344. DOI: 10.1016/S0140-6736(17)32130-X
 13. GBD 2016 Disease and Injury Incidence and Prevalence Collaborators (Mori R). Global, regional, and national incidence, prevalence, and years lived with disability for 328 diseases and injuries for 195 countries, 1990-2016: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2016. *Lancet*. 2017;390(10100):1211-59. DOI: 10.1016/S0140-6736(17)32154-2
 14. GBD 2016 Mortality Collaborators (Mori R). Global, regional, and national under-5 mortality, adult mortality, age-specific mortality, and life expectancy, 1970-2016: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2016. *Lancet*. 2017;390(10100):1084-150. DOI: 10.1016/S0140-6736(17)31833-0
 15. Gomi H, *Takada T, Hwang TL, Akazawa K, Mori R, Endo I, Miura F, Kiriyama S, Matsunaga N, Itoi T. Updated comprehensive epidemiology, microbiology, and outcomes among patients with acute cholangitis. *Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences*. 2017. DOI: 10.1002/jhbp.452
 16. Iwashita Y, Hibi T, Ohyama T, Honda G, Yoshida M, Miura F, *Takada T, Han HS, Hwang TL, Shinya S, Suzuki K, Umezawa A, Yoon YS, Choi IS, Huang WS, Chen KH, Watanabe M, Abe Y, Misawa T, Nagakawa Y, Yoon DS, Jang JY, Yu HC, Ahn KS, Kim SC, Song IS, Kim JH, Yun SS, Choi SH, Jan YY, Shan YS, Ker CG, Chan DC, Wu CC, Lee KT, Toyota N, Higuchi R, Nakamura Y, Mizuguchi Y, Takeda Y, Ito M, Norimizu S, Yamada S, Matsumura N, Shindoh J, Sunagawa H, Gocho T, Hasegawa H, Rikiyama T, Sata N, Kano N, Kitano S, Tokumura H, Yamashita Y, Watanabe G, Nakagawa K, Kimura T, Yamakawa T, Wakabayashi G, Mori R, Endo I, Miyazaki M, Yamamoto M. An opportunity in difficulty: Japan-Korea-Taiwan expert Delphi consensus on surgical difficulty during laparoscopic cholecystectomy. *Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic*

- Sciences. 2017. DOI: 10.1002/jhbp.440
17. Kiriyama S, *Takada T, Hwang TL, Akazawa K, Miura F, Gomi H, Mori R, Endo I, Itoi T, Yokoe M. Clinical application and verification of the TG13 diagnostic and severity grading criteria for acute cholangitis: An international multicenter observational study. *Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences*. 2017. DOI: 10.1002/jhbp.458
 18. Kobayashi S, Hanada N, Matsuzaki M, Takehara K, Ota E, Sasaki H, Nagata C, *Mori R. Assessment and support during early labour for improving birth outcomes. *The Cochrane Library*. 2017. DOI: 10.1002/14651858.CD011516.pub2
 19. Miyazaki C, Koyama M, *Ota E, Swa T, Mlunde LB, Amiya RM, Tachibana Y, Yamamoto-Hanada K, Mori R. Allergic diseases in children with attention deficit hyperactivity disorder: a systematic review and meta-analysis. *BMC Psychiatry*. 2017;17(1):120. DOI: 10.1186/s12888-017-1281-7
 20. Miyazaki C, Tanase-Nakao K, *Arata N, Mori R, Kawasaki M, Ota E. Nonpharmacological interventions to prevent type 2 diabetes in women diagnosed with gestational diabetes mellitus: a systematic overview. *Diabetology International*. 2017;8:160-80. DOI: 10.1007/s13340-017-0316-0
 21. Mo X, *Tobe RG, Wang L, Liu X, Wu B, Luo H, Nagata C, Mori R, Nakayama T. Cost-effectiveness analysis of different types of human papillomavirus vaccination combined with a cervical cancer screening program in mainland China. *BMC Infectious Diseases*. 2017;17(1):502. DOI: 10.1186/s12879-017-2592-5
 22. *Morisaki, N, Ganchimeg T, Vogel J, Zeitlin J, Cecatti J, Souza J, Pileggi CC, Torloni M, Ota E, Mori R. Impact of stillbirths on international comparisons of preterm birth rates: a secondary analysis of the WHO multi-country survey of Maternal and Newborn Health. *BJOG: an international journal of obstetrics and gynaecology*. 2017. DOI: 10.1111/1471-0528.14548
 23. *Morisaki, N, Zhang X, Ganchimeg T, Vogel JP, Souza JPD, Cecatti JG, Torloni MR, Ota E, Mori R, Mittal S. Provider-initiated delivery, late preterm birth and perinatal mortality: a secondary analysis of the WHO multicountry survey on maternal and newborn health. *BMJ Global Health*. 2017;2(2):e000204. DOI: 10.1136/bmjgh-2016-000204
 24. Motomura K, Ganchimeg T, *Nagata C, Ota E, Vogel JP, Betran AP, Torloni MR, Jayaratne K, Jwa SC, Mittal S, Dy Recidoro Z, Matsumoto K, Fujieda M, Nafiou I, Yunis K, Qureshi Z, Souza JP, Mori R. Incidence and outcomes of uterine rupture among women with prior caesarean section: WHO Multicountry Survey on Maternal and Newborn Health. *Sci Rep*. 2017;7:44093. DOI: 10.1038/srep44093
 25. *Nagata C, Moriichi A, Morisaki, N, Gai-Tobe R, Ishiguro A, Mori R. Inter-prefecture disparity in under-5 mortality: 115 year trend in Japan. *Pediatrics International*. 2017. DOI: 10.1111/ped.13304

26. *Nagata C, Moriichi A, Morisaki, N, Tobe RG, Ishiguro A, Mori R. Japan's 115 - year trend of inter - prefectural disparities in under - five mortality. *Pediatrics International*. 2017. DOI: 10.1111/ped.13304
27. GBD Health Financing Collaborators (Tobe RG). Future and potential spending on health 2015-40: development assistance for health, and government, prepaid private, and out-of-pocket health spending in 184 countries. *The Lancet*. 2017;389(10083):2005-30. DOI: 10.1016/S0140-6736(17)30873-5
28. *Ogawa R, Mori R, Iida K, Uchida Y, Oshiro M, Kageyama M, Kato Y, Tanaka T, Nakata Y, Nishimura Y. Effects of the early administration of sivelestat sodium on bronchopulmonary dysplasia in infants: A retrospective cohort study. *Early Human Development*. 2017;115:71-6. DOI: 10.1016/j.earlhumdev.2017.09.016
29. GBD Health Financing Collaborators (Tobe RG). Evolution and patterns of global health financing 1995-2014: development assistance for health, and government, prepaid private, and out-of-pocket health spending in 184 countries. *The Lancet*. 2017;389(10083):1981-2004. DOI: 10.1016/S0140-6736(17)30874-7
30. GBD 2016 SDG Collaborators (Tobe RG). Measuring progress and projecting attainment on the basis of past trends of the health-related Sustainable Development Goals in 188 countries: an analysis from the Global Burden of Disease Study 2016. *The Lancet*. 2017;390(10100):1423-59. DOI:
31. *Sasaki H, Kakee N, Morisaki, N, Mori R, Ravens-Sieberer U, Bullinger M. Assessing health-related quality of life in young Japanese children with chronic conditions: Preliminary validation of the DISABKIDS smiley measure. *BMC pediatrics*. 2017;17(1):100. DOI: 10.1186/s12887-017-0854-4
32. *Sasaki H, Marston J, Bouesseau M-C, Mori R. A scoping review of palliative care for children in low-and middle-income countries. *BMC Palliative Care*. 2017;16(1):60. DOI: 10.1186/s12904-017-0242-8
33. *Sasaki H, Yonemoto N, Mori R, Nishida T, Kusuda S, Nakayama T. Assessing archetypes of organizational culture based on the Competing Values Framework: the experimental use of the framework in Japanese neonatal intensive care units. *International Journal for Quality in Health Care*. 2017:1-8. DOI: 10.1093/intqhc/mzx038
34. Suto M, Takehara K, Yamane Y, *Ota E. Effects of prenatal childbirth education for partners of pregnant women on paternal postnatal mental health and couple relationship: A systematic review. *Journal of Affective Disorders*. 2017;210:115-21. DOI: 10.1016/j.jad.2016.12.025
35. *Tachibana Y, Miyazaki C, Ota E, Mori R, Hwang Y, Kobayashi E, Terasaka A, Tang J, Kamio Y. A systematic review and meta-analysis of comprehensive interventions for pre-school children with autism spectrum disorder (ASD). *PLoS One*. 2017;12(12):e0186502. DOI:

10.1371/journal.pone.0186502

36. *Tachibana Y, Takehara K, Kakee N, Mikami M, Inoue E, Mori R, Ota E, Koizumi T, Okuyama M, Kubo T. Maternal impulse control disability and developmental disorder traits are risk factors for child maltreatment. *Sci Rep.* 2017;7(1):15565. DOI: 10.1038/s41598-017-14666-5
37. *Takahashi K, Ganchimeg T, Ota E, Vogel JP, Souza JP, Laopaiboon M, Castro CP, Jayaratne K, Ortiz-Panoso E, Lumbiganon P, Mori R. Prevalence of early initiation of breastfeeding and determinants of delayed initiation of breastfeeding: secondary analysis of the WHO Global Survey. *Sci Rep.* 2017;7:44868. DOI: 10.1038/srep44868
38. Takahashi R, Ota E, Hoshi K, Naito T, Toyoshima Y, Yuasa H, *Mori R, Nango E. Fluoride supplementation (with tablets, drops, lozenges or chewing gum) in pregnant women for preventing dental caries in the primary teeth of their children. *The Cochrane Library.* 2017;10. DOI: 10.1002/14651858.CD011850.pub2
39. *Takehara K, Suto M, Kakee N, Tachibana Y, Mori R. Prenatal and early postnatal depression and child maltreatment among Japanese fathers. *Child Abuse & Neglect.* 2017;70(Supplement C):231-9. DOI: 10.1016/j.chiabu.2017.06.011
40. Tanase - Nakao K, *Arata N, Kawasaki M, Yasuhi I, Sone H, Mori R, Ota E. Potential protective effect of lactation against incidence of type 2 diabetes in women with previous gestational diabetes mellitus: A systematic review and meta - analysis. *Diabetes/Metabolism Research and Reviews.* 2017. DOI: 10.1002/dmrr.2875
41. *Tobe, RG, Martin GR, Li F, Moriichi A, Wu B, Mori R. Cost-effectiveness analysis of neonatal screening of critical congenital heart defects in China. *Medicine.* 2017;96(46):e8683. DOI: 10.1097/MD.00000000000008683
42. GBD Child and Adolescent Health Collaborators (Tobe RG). Child and adolescent health from 1990 to 2015: findings from the Global Burden of Diseases, Injuries, and Risk Factors 2015 Study. *JAMA pediatrics.* 2017(171):573-92. DOI: 10.1001/jamapediatrics.2017.0250
43. *Wariki WMV, Ota E, Mori R, Wiysonge CS, Horvath H, Read JS. Interventions for preventing mother-to-child HIV transmission: protocol of an overview of systematic reviews. *BMJ Open.* 2017;7(6):e014332. DOI: 10.1136/bmjopen-2016-014332
44. Wu B, Lin H, Tobe, RG, Zhang L, *He B. Ticagrelor versus clopidogrel in East-Asian patients with acute coronary syndromes: a meta-analysis of randomized trials. *Journal of Comparative Effectiveness Research.* 2017(0). DOI: 10.2217/cer-2017-0074
45. Wu B, Yang Z, Tobe R, *Wang Y. Medical therapy for preventing recurrent endometriosis after conservative surgery: a cost-effectiveness analysis. *BJOG: an international journal of obstetrics and gynaecology.* 2017. DOI: 10.1111/1471-0528.14786
46. *Yamamoto S, Yamaga T, Nishie K, Nagata C, Mori R. Positive airway pressure for heart failure associated with central sleep apnoea. *The Cochrane Library.* 2017. DOI:

10.1002/14651858.CD012803

47. Yokoe M, *Takada T, Hwang TL, Endo I, Akazawa K, Miura F, Mayumi T, Mori R, Chen MF, Jan YY. Descriptive review of acute cholecystitis: Japan - Taiwan collaborative epidemiological study. *Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences*. 2017. DOI: 10.1002/jhbp.450
48. Yokoe M, *Takada T, Hwang TL, Endo I, Akazawa K, Miura F, Mayumi T, Mori R, Chen MF, Jan YY, Ker CG, Wang HP, Itoi T, Gomi H, Kiriya S, Wada K, Yamaue H, Miyazaki M, Yamamoto M. Validation of TG13 severity grading in acute cholecystitis: Japan-Taiwan collaborative study for acute cholecystitis. *J Hepatobiliary Pancreat Sci*. 2017;24(6):338-45. DOI: 10.1002/jhbp.457
49. Yonemoto N, Dowswell T, Nagai S, *Mori R. Schedules for home visits in the early postpartum period. *The Cochrane Library*. 2017;8. DOI: 10.1002/14651858.CD009326.pub2
50. Zhao Y, *Zhang J, Zamora J, Vogel JP, Souza JP, Jayaratne K, Ganchimeg T, Ortiz - Panozo E, Hernandez B, Oladapo OT, Torloni MR, Morisaki, N, Mori R, Pileggi - Castro C, Tunçalp Ö, Shen X, Betrán AP. Increases in Caesarean Delivery Rates and Change of Perinatal Outcomes in Low - and Middle - Income Countries: A Hospital - Level Analysis of Two WHO Surveys. *Paediatr Perinat Epidemiol*. 2017. DOI: 10.1111/ppe.12363

2) 【和文原著・総説】

1. 竹原健二, 松井三明. 分娩進行を判断・予測するために (特集 教科書には載っていない分娩進行のアセスメント : 開業助産師の"ここで分かる"をエビデンスで解説). *ペリネイタルケア*. 2017;36(9):855-7.
2. 小池智, 森臨太郎. 【対談】政策を「つくる」「動かす」ための看護管理者と看護研究者の役割. *看護管理*. 2017;27(8):644-9.
3. 森桂, 大田えりか, 森臨太郎. 産褥婦の自殺にかかる状況および社会的背景の調査. *助産雑誌*. 2017;71(9):706-8.
4. 竹原健二. 国内外の分娩進行に関する研究 (特集 教科書には載っていない分娩進行のアセスメント: 開業助産師の"ここで分かる"をエビデンスで解説). *Perinatal care=ペリネイタルケア*. 2017;36(9):897-900.
5. 森臨太郎, 杉元順. Key Person INTERVIEW(NO.64)日本コクランセンター(コクランジャパン)正式発足科学的根拠に基づく医療情報の発信を続ける非営利の国際学術組織が日本でも正式に活動を開始, *月刊新医療*. 2017;44(10):120-4.

3) 【著書】

1. 森臨太郎. 「ほんとうに確かなことから考える妊娠・出産の話」, 医学書院, 2018.3.8
2. 竹原健二, 渡辺多恵子. 学校保健領域の研究. 松浦 賢長, 笠井 直美, 渡辺 多恵子編著. 学校看護学. 講談社サイエンティフィク. 2017.

2. 【学会発表】

【一般演題】

1. 橋本直也, 安藤友久, 千先園子, 柳川侑子, 田中俊之, 森臨太郎: 小児科専門医によるインターネット小児医療相談事業に関する後方視的検討. 第120回日本小児科学会学術集会, 東京, 2017.4.16
2. 田中俊之, 安藤友久, 橋本直也, 森臨太郎: 保育園グループに対する小児遠隔医療相談事業導入の後方視的検討. 第6回日本小児診療多職種研究会, 沖縄, 2017.11.3

3. 【講演・シンポジウム】

1. 蓋若琰. ISPOR 22nd Annual International Meeting, International Society for PharmacoEconomics and Outcomes Research, Boston, 2017.5.20-24
2. 蓋若琰. 第32回日本国際保健医療学会, 日本国際保健医療学会, 東京大学本郷キャンパス内, 東京, 2017.11.24
3. 森臨太郎. 第48回キャノンHTA研究会, 「医療技術評価と診療ガイドラインの連携と政策的位置づけ」, 一般財団法人キャノングローバル戦略研究所, 東京, 2017.4.19
4. 森臨太郎. 第24回日赤図書室協議会研修会公開講座「コクランの日本における活動」, 日赤図書室協議会, 東京, 2017.7.8
5. 森臨太郎. セネガル国保健システムマネジメント強化プロジェクトにおける本邦招聘講義, アイ・シー・ネット株式会社, 東京, 2017.7.21
6. 森臨太郎. Cochrane China Network の創設について, 一般財団法人ヘルスケア・データサイエンス研究所, 東京, 2017.9.8
7. 森臨太郎. 第62回日本新生児成育医学会・学術集会, 「日本の新生児医療を情報として発信し、世界に貢献するために」, 埼玉医科大学総合医療センター, 埼玉, 2017.10.13
8. 森臨太郎. 厚生労働科学研究費補助金平成29年度研究発表会, 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究所, 生涯免疫難病学講座, 東京, 2017.12.10
9. 竹原健二. 「妊娠・出産・育児期の父親の役割」, 日本ウーマンズヘルス学会シンポジウム, 東京, 2017.8.5.
10. 竹原健二. 「子育てに向かう夫婦のよりよいメンタルヘルスのために」, 長野県佐久保健福祉事務所, 長野, 2017.11.15
11. 竹原健二. 「父親のメンタルヘルスに焦点を当てた産後支援のあり方について」, 杉並区高円寺・上井草保健センター, 東京, 2017.11.20
12. 蓋若琰. 「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成のための保険財政能力強化」, 独立行政法人国際協力機構 (JICA), ヨハネスブルグ, 南アフリカ, 2017.7.22-27
13. 蓋若琰. 費用対効果分析のデモンストレーション「血行再建術の費用対効果分析の実

際」，一般社団法人 ARIA, 福岡, 2017.11.25

14. 蓋若琰. MPH セミナー「Career path as a public health professional: sharing my personal experiences」, 聖路加国際大学公衆衛生大学院, 東京, 2017.12.9

4. 【ワークショップ】

1. 森臨太郎. 東京医科大学コクランレビュー・ワークショップ, NPO 法人日本コクランセンター, 東京, 2017.9.27
2. 森臨太郎. 第6回東京コクランレビュー・ワークショップ, 特定非営利活動法人日本コクランセンター, 東京, 2018.3.15
3. 蓋若琰. 第7回東京コクランレビュープロトコールワークショップ, 特定非営利活動法人, 日本コクランセンター, 東京, 2017.11.29

5. 【研究費】

1) 【公的研究費（研究代表者）】

1. 平成29年度子ども・子育て支援推進調査研究事業費補助金 平成29年度子ども・子育て支援推進調査研究事業費補助金 「子どもの身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial) な健康課題に関する調査研究」 1,355 万円
2. 日本医療研究開発機構 成育疾患克服等総合研究事業 「母子保健領域における国際的動向を踏まえた予防方法や治療方法の開発及び情報発信等に関する研究」森臨太郎 (研究代表者), 560 万円
3. 厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業「地域における小児保健・医療提供体制に関する研究」森臨太郎 (研究代表者), 360 万円
4. 厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業 「周産期関連の医療データベースのリンケージの研究」森臨太郎 (研究代表者), 1,134 万円
5. 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究 (B)「モンゴルにおける運動が子どもの認知機能や健康状態に与える効果に関する介入研究」森臨太郎 (研究代表者), 676 万円
6. 成育医療研究開発費 成育医療研究開発費「医療的ケアが必要となる重症障害児・慢性疾患児のレスパイトケアの社会的価値に関する包括的評価研究」蓋若琰 (研究代表者), 300 万円
7. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 挑戦的研究 (萌芽) 「小児保健医療の医療経済評価に用いる健康効用評価尺度の開発」蓋若琰 (研究代表者), 494 万円
8. 成育医療研究開発費 成育医療研究開発費 「死産・周産期死亡および低出生体重児出生予防に関する包括的研究」佐々木八十子 (研究代表者), 112 万円
9. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 (A) 「バングラデシュ農村の母子

保健に対するモバイルヘルスプログラム効果の地域介入研究」蓋若琰（研究代表者），806 万円

10. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究（B）「A systematic review on interventions to improve mental health of displaced and refugee children」宮崎セリーヌ（研究代表者），130 万円
11. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究（B）「The association between maternal nutritional status and gestational weight gain on glucose tolerance and birth outcomes」バログンオルクミ（研究代表者），221 万円
12. 独立行政法人国際協力機構 受託研究費，「母子手帳が母子保健指標に与える影響の調査（インパクト調査）」森臨太郎（研究代表者），884 万円
13. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）「唾液検体を用いた父親の産後うつへの解明と、労働や QOL に及ぼす影響に関する研究」竹原健二（研究代表者），208 万円
14. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究（B）「Effect of maternity intervention for pregnant women on knowledge and respectful maternity workshop intervention for providers on attitudes towards disrespect and abuse in pregnant women」チブエゼチオマエジネ（研究代表者），182 万円

2) 【公的研究費（研究分担者）】

1. 厚生労働行政推進調査事業費 地域医療基盤開発推進研究事業「診療ガイドラインの担う新たな役割とその展望に関する研究（研究代表者：中山健夫）」森臨太郎（研究分担者），25 万円
2. 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）「自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究（研究代表者：平家俊男）」森臨太郎（研究分担者），60 万円
3. 日本医療研究開発機構 成育疾患克服等総合研究事業「脳性麻痺に対する臍帯由来間葉系細胞治療に関する研究（研究開発担当者：新宅治夫）」森臨太郎（研究分担者），110 万円
4. 厚生労働科学研究費補助金 成育疾患等克服次世代育成基盤研究事業「母子の健康改善のための母子保健情報利用活用に関する研究（研究代表者：山縣然太郎）」森臨太郎（研究分担者），40 万円
5. 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業 「指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発（研究代表者：和田隆志）」森臨太郎（研究分担者），80 万円
6. 厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「健やかな親子関係を確立するためのプログラムの開発と有効性の評価に関する研究（研究代表者：立花良之）」蓋若琰（研究分担者），50 万円

7. 国立がん研究センター 研究開発費国立がん研究センター研究開発費 「国立高度専門医療研究センター独自の政策調査機能に関する研究」森臨太郎（分担研究者）、50万円
8. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（B）「カンボジアにおける「科学的根拠に基づく助産ケア」が母児に及ぼす影響の研究(研究代表者：松井三明)竹原健二（分担研究者）, 26万円
9. 厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 「小児死亡事例に関する登録・検証システムの確立に向けた実現可能性の検証に関する研究（研究代表者：溝口史剛）」森臨太郎（研究分担者）、代表者一括

3) 【私的研究費（研究代表者）】

1. トヨタ財団研究助成プログラム（B） 「「イクメン」はわが国の父親のありようの理想像といえるのかー「イクメンブーム」がもたらした影響とそれにより失った何かを問い直す」竹原健二（研究代表者）, 45万円

6. 【その他（教育・広報など）】

1) 【教育活動】

森臨太郎

- 京都大学大学院医学研究科連携大学院客員教授
- 東京大学大学院医学系研究科准教授

2) 【社会貢献】

森臨太郎

- 特定非営利活動法人 日本コクランセンター 理事長
- 公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM 医療情報事業運営委員
- 長崎大学熱帯医学研究所 熱帯医学研究拠点運営協議会委員
- 日本小児科学会 小児医療提供体制委員会委員

蓋若琰

- 受療者医療保険学術連合会 学術委員会委員

竹原健二

- JICA アンゴラ国母子健康手帳を通じた周産期及び小児保健サービスの向上プロジェクトインパクト評価調査団員

3) 【その他の活動】

1. 森臨太郎. 「UHC 実現のための母子継続ケアの重要性と投資の効果」「日本の母子継続ケアの経験と共有・ディスカッション」, 公益財団法人ジョイセフ, 東京, 研修指

- 導, 2017.1.29
2. 森臨太郎. 母子手帳を活用した母子継続ケア人材育成コース「母子手帳の母子指標へのインパクト」, 独立行政法人国際協力機構, 東京, 研修指導, 2017.2.5-7
 3. 森臨太郎. 公衆衛生大学院の学生のための母子保健学講義, 聖路加大学公衆衛生大学, 東京, 講義, 2017.5.10
 4. 森臨太郎. Cochrane China Network の創設について, 名古屋大学大学院医学系研究, 名古屋, 講義, 2017.6.7
 5. 森臨太郎. 臨床研究演習の講義, 横浜市立大学大学院医学研究科, 横浜, 講義, 2017.10.3
 6. 森臨太郎. 平成 29 年度課題別研修コース「地域周産期・新生児保健医療」, 大阪府立病院機構, 大阪母子医療センター, 大阪, 研修指導, 2017.10.6
 7. 森臨太郎. 2017 年 JICA 課題別研修「妊産婦の健康改善 (C)」 「妊産婦の健康改善 (C)」, 特定非営利活動法人 BHN テレコム支援協議会, 東京, 研修指導, 2017.10.12
 8. 森臨太郎. Case Study (Institutions and Methods of Health Technology Assessment in Healthcare Policy)の「英国 NICE について」, 東京大学公共政策大学院, 東京, 講義, 2017.11.9
 9. 森臨太郎. Global Health Course での「Global Women's and Children's Health」に関する講義, 京都大学大学院医学研究科, 京都, 講義, 2017.11.15
 10. 森臨太郎. MPH セミナー「Career development I public.global health」, 聖路加国際大学聖路加臨床学術センター, 東京, 講義, 2017.12.16
 11. 竹原健二. 「父親のメンタルヘルス」, 江東区城東南部保健相談所, 東京, 講習における指導, 2017.7.5
 12. 竹原健二. 「保健医療政策学の実践」, 筑波大学大学院人間総合研究科, 筑波, 2017.11.16.
 13. 竹原健二. 「母性看護学援助論 I」「国際母子看護学演習」, 北海道大学医学部保健学科, 北海道, 講義, 2017.11.17
 14. 蓋若琰. 「世界保健機関 (WHO) ガイドライン開発への参画を目指したキャリア・デベロップメントワークショップ」, グローバルヘルス人材戦略センター, 東京, 研修指導, 2017.3.4、10

4) 【研究所運営への貢献】

- 森臨太郎. 研究企画調整委員会 (委員長)、予算委員会、施設整備・共同研究区域管理委員会、実験動物委員会、図書委員会.
- 蓋若琰. ビデオ教育委員会.
- 竹原健二. 防災対策委員.

7. 【倫理委員会承認研究課題】

- 竹原健二. 妊婦のパートナーを対象とした出産・育児期に関する情報提供の有効性に関するランダム化比較試験
- オルクミンバログン. 妊娠前の体格や妊娠中の体重増加が妊娠糖尿病および妊娠・分娩時のアウトカムに及ぼす影響に関する前向きコホート研究
- 橋本直也. 小児科専門医によるインターネット小児医療相談の後方視的検討
- 蓋若琰. バングラデシュ農村の母子保健に対するモバイルヘルスプログラム効果の地域介入研究
- 安藤友久. 保育所給食関係者の食物アレルギーに対する意識調査～講習会の効果についての検討～
- 竹原健二. モンゴルにおいて運動が子どもの学力や認知機能、身体的な健康状態に与える効果に関するクラスター無作為化比較試験
- 安藤友久. 自治体における母の産後不安と児の皮膚状態に対する小児遠隔医療相談の有用性に関するランダム化比較試験（栄区母子小児医療相談研究）
- 澤田樹美. 職域における食環境づくりのためのニーズ調査
- 蓋若琰. 小児保健医療の医療経済評価に用いる健康効用評価尺度の開発研究
- 橋本直也. 小児科医によるインターネット小児医療相談利用後の受診行動及び医療費に関する検討
- 森臨太郎. "地域における小児医療提供体制の検証および提言のための研究—子ども・青少年の受療状況と医療費の動向に関する分析—"
- 竹原健二. アンゴラ共和国における母子健康手帳の配布が継続ケアや母子保健指標にもたらす影響に関するクラスター無作為化比較試験
- 森臨太郎. 指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発に関する研究
- 森臨太郎. バングラデシュ国における母性保護サービス強化プロジェクト（SMPP）フェーズ2の評価研究

【平成30年研究業績】

1. 【誌上発表】

1) 【英文原著】

1. Shintaku H, Nabetani M, Hamazaki T, Ohnishi S, Tanaka E, Kusuda S, Tamura M, Watabe S, Hayakawa M, Sato Y, Tsuji M, Taguchi A, Ichiba H, Oka A, Mori R, Mukai T, Nagamura-Inoue T. AB009. Regenerative therapy in neonates with hypoxic ischemic encephalopathy. *Pediatric Medicine*. 2018;1. DOI: 10.21037/pm.2018.AB009
2. *Matsumoto K, Mori R, Miyazaki C, Ohya Y, Saito H. Are both early egg introduction and eczema treatment necessary for primary prevention of egg allergy? *Journal of Allergy and Clinical Immunology*. 2018. DOI: 10.1016/j.jaci.2018.02.033
3. *Sasaki H, Kakee N, Morisaki N, Mori R, Ravens-Sieberer U, Bullinger M. Assessing health-related quality of life in Japanese children with a chronic condition: validation of the DISABKIDS chronic generic module. *Health and quality of life outcomes*. 2018;16(1):85. DOI: 10.1186/s12955-018-0911-1
4. Takahashi N, *Mori R. Clinical Trials on Cell Therapy for Perinatal Brain Injury: Challenges and Opportunities. *Cell Therapy for Perinatal Brain Injury*. 2018:131-43. DOI: 10.1007/978-981-10-1412-3_13
5. *Hoque DME, Chowdhury MAK, Rahman AE, Billah SM, Bari S, Tahsina T, Hasan MM, Islam S, Islam T, Mori R. A community-based cluster randomized controlled trial (cRCT) to evaluate the impact and operational assessment of “safe motherhood and newborn health promotion package”: study protocol. *BMC public health*. 2018;18(1):592. DOI: 10.1186/s12889-018-5478-6
6. Cui S, *Tobe RG, Mo X, Liu X, Xu L, Li S. Correction to: Cost-effectiveness analysis of rotavirus vaccination in China: Projected possibility of scale-up from the current domestic option. *BMC Infectious Diseases*. 2018;18(1):487. DOI: 10.1186/s12879-018-3370-8
7. Liu Y, Wang Z, *Tobe RG, Lin H, Wu B. Cost Effectiveness of Daclatasvir Plus Asunaprevir Therapy for Chinese Patients with Chronic Hepatitis C Virus Genotype 1b. *Clinical drug investigation*. 2018:1-11. DOI: 10.1007/s40261-018-0621-9
8. GBD 2016 Lower Respiratory Infections Collaborators (Tobe RG). Estimates of the global, regional, and national morbidity, mortality, and aetiologies of lower respiratory infections in 195 countries, 1990–2016: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2016. *The Lancet Infectious Diseases*. 2018;18(11):1191-210. DOI: 10.1016/S1473-3099(18)30310-4
9. Yamamoto S, Hotta K, Ota E, Matsunaga A, *Mori R. Exercise - based cardiac rehabilitation for people with implantable ventricular assist devices. *Cochrane Library*. 2018(9). DOI: 10.1002/14651858.CD012222.pub2

10. GBD 2016 Injury Collaborators ([Mori R](#)). Global Mortality From Firearms, 1990-2016. *JAMA*. 2018;320(8):792-814. DOI: 10.1001/jama.2018.10060
11. Yamada T, [*Mori R](#), Hosoe J, Shojima N, Kamata R, Ishinohachi K, Yamauchi T, Tanikawa Y, Kadowaki T. Glucagon - like peptide (GLP) - 1 analogues as an add - on to insulin for adults with type 1 diabetes mellitus. *Cochrane Library*. 2018(11). DOI: 10.1002/14651858.CD013164
12. [*Wu B](#), [Tobe RG](#), Liu Y, He B. Health Economic Analysis of Antiplatelet Therapy for Acute Coronary Syndromes in the Context of Five Eastern Asian Countries. *Clinical drug investigation*. 2018;1-10. DOI: 10.1007/s40261-018-0649-x
13. Ferguson L, [*Futamura M](#), Vakirlis E, Kojima R, [Sasaki H](#), Roberts A, [Mori R](#). Leukotriene receptor antagonists for eczema. *Cochrane Library*. 2018(10). DOI: 10.1002/14651858.CD011224.pub2
14. [*Dagvadorj A](#), Ganbaatar D, [Balogun OO](#), Yonemoto N, Bavuusuren B, [Takehara K](#), [Mori R](#), Akahira-Azuma M. Maternal socio-demographic and psychological predictors for risk of developmental delays among young children in Mongolia. *BMC pediatrics*. 2018;18(1):68. DOI: 10.1186/s12887-018-1017-y
15. GBD 2016 Healthcare Access and Quality Collaborators ([Mori R](#), [Tobe RG](#)). Measuring performance on the Healthcare Access and Quality Index for 195 countries and territories and selected subnational locations: a systematic analysis from the Global Burden of Disease Study 2016. *The Lancet*. 2018;391(10136):2236-71. DOI: 10.1016/S0140-6736(18)30994-2
16. [*Tachibana Y](#), [Miyazaki C](#), Mikami M, Ota E, [Mori R](#), Hwang Y, Terasaka A, Kobayashi E, Kamio Y. Meta-analyses of individual versus group interventions for pre-school children with autism spectrum disorder (ASD). *PLoS One*. 2018;13(5):e0196272. DOI: 10.1371/journal.pone.0196272
17. [*Tobe RG](#), Haque SE, Ikegami K, [Mori R](#). Mobile-health tool to improve maternal and neonatal health care in Bangladesh: a cluster randomized controlled trial. *BMC Pregnancy Childbirth*. 2018;18(1):102. DOI: 10.1186/s12884-018-1714-4
18. [Kawasaki M](#), [*Arata N](#), [Miyazaki C](#), [Mori R](#), Kikuchi T, Ogawa Y, Ota E. Obesity and abnormal glucose tolerance in offspring of diabetic mothers: A systematic review and meta-analysis. *PLoS One*. 2018;13(1):e0190676. DOI: 10.1371/journal.pone.0190676
19. GBD Health Financing Collaborators ([Tobe RG](#)). Spending on health and HIV/AIDS: domestic health spending and development assistance in 188 countries, 1995-2015. *The Lancet*. 2018;391(10132):1799-829. DOI: 10.1016/S0140-6736(18)30698-6
20. GBD Health Financing Collaborators ([Tobe RG](#)). Trends in future health financing and coverage: future health spending and universal health coverage in 188 countries, 2016-40. *The Lancet*. 2018;391(10132):1783-98. DOI: 10.1016/S0140-6736(18)30697-4
21. [*Hikita N](#), Haruna M, Matsuzaki M, Shiraiishi M, [Takehara K](#), [Dagvadorj A](#), Sumya N,

- Bavuusuren B, Baljinnyam P, Ota E, Mori R. Utilisation of maternal and child health handbook in Mongolia: A cross-sectional study. Health Education Journal. 2018;0017896917753649. DOI: 10.1177/0017896917753649
22. *Shahrook S, Ota E, Hanada N, Sawada K, Mori R. Vitamin K supplementation during pregnancy for improving outcomes: a systematic review and meta-analysis. Sci Rep. 2018;8(1):11459. DOI: 10.1038/s41598-018-29616-y
 23. GBD 2017 SDG Collaborators (Tobe RG). Measuring progress from 1990 to 2017 and projecting attainment to 2030 of the health-related Sustainable Development Goals for 195 countries and territories: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2017. 2018 Nov 10;392(10159):2091-2138. DOI: 10.1016/S0140-6736(18)32281-5
 24. GBD 2017 Causes of Death Collaborators (Tobe RG). Global, regional, and national age-sex-specific mortality for 282 causes of death in 195 countries and territories, 1980-2017: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2017. Lancet. 2018 Nov 10;392(10159):1736-1788. DOI: 10.1016/S0140-6736(17)32152-9
 25. GBD 2017 Mortality Collaborators (Tobe RG). Global, regional, and national age-sex-specific mortality and life expectancy, 1950-2017: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2017. Lancet. 2018 Nov 10;392(10159):1684-1735. DOI: 10.1016/S0140-6736(18)31891-9
 26. *Takehara K, Tachibana Y, Yoshida K, Mori R, Kakee N, Kubo T. Prevalence trends of pre-and postnatal depression in Japanese women: A population-based longitudinal study. Journal of Affective Disorders. 2018;225:389-94. DOI: 10.1016/j.jad.2017.08.008

2) 【和文原著・総説】

1. 葛西圭子, 山城五月, 田村千亜紀, 北目利子, 渡邊香, 竹原健二. 母児訪問助産師がとらえた初産婦の産後 1 か月以内のメンタルヘルスの状況. 日本助産学会誌. 2018;32(1):27-36..
2. 森臨太郎. 日本における系統的レビュー (コクラン) と医療技術評価と診療ガイドライン. 東京女子医科大学雑誌. 2018;88(Extra1):E10-E5.
3. 森臨太郎. 『ほんとうに確かなことから考える 妊娠・出産の話』の効果的な使い方, 教えます. 助産雑誌. 2018;72(4):282-4.
4. 須藤茉衣子. 「健康医学情報の伝達におけるリーダビリティ」 酒井 由紀子 著. 情報の科学と技術. 2018;68(10):523.
5. 森臨太郎. コクラン：医療と研究における意思決定と患者一般参画. 情報管理. 2018;60(12):855-64.

2. 【学会発表】

【一般演題】

1. 竹原健二. 国際保健と疫学～フィールドとアカデミアをつなぐために～, 第33回日本国際保健医療学会, 津田塾大学, 東京, 2018.12.1
2. 蓋若琰. Health Technology Assessment international (HTAi) 2018 Annual Meeting, Health Technology Assessment international 2018 Vancouver, Canada, 2018.6.4-7
3. 蓋若琰, How to Measure and Value Health Benefits to Facilitate Priority Setting for Pediatric Population? Development and Application Issues, ISPOR Asia-Pacific Conference, ISPOR, 東京, 2018.9.10
4. 山本依志子, 山下陽子, 久保浩太, 金山旭, 佐藤正規, 梅原永能, 佐合治彦. 当センターにおける、無痛分娩時の胎児心拍低下による緊急帝王切開の解析, ポスター発表, 第122回日本産科麻酔学会学術集会, 静岡, 2018.11.23
5. 橋本直也, 安藤友久, 田中俊之, 森臨太郎: 小児科医によるインターネット小児遠隔健康医療相談利用後の受診行動に関する検討. 第28回日本外来小児科学会年次集会, 東京, 2018.8.25

3. 【講演・シンポジウム】

1. 森臨太郎. 「ケアや施策のランダム化比較試験を行うには」, 順天堂大学大学院医療看護学研究科, 千葉, 2018.8.2
2. 森臨太郎. Cochrane China Network の創設について, 北京大学ヘルスサイエンスセンター, 北京, 2018.10.9.
3. 森臨太郎. 「キルギス共和国における保健分野の支援を実施するにあたり母子保健施策について病院管理の知見を深めてもらうための説明」, 独立行政法人国際協力機構 (JICA), 東京, 2018.10.30
4. 森臨太郎. 第1回普及と実装科学研究会「周産期診療の質向上に関するクラスターランダム化比較試験：科学的根拠に基づく方針と個別の診療方針をつなぐ試み」, 国立がん研究センター, 東京, 2018.11.18
5. 蓋若琰. 「モンゴルにおける母子手帳とSDGs」, 長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科, 長崎, 2018.11.9
6. 蓋若琰. 「インターベンション医のための医療経済塾」, 一般社団法人ARIA, 福岡, 2018.11.24

4. 【ワークショップ】

1. 竹原健二. イクメンは我が国の父親のありようの理想像と言えるのか, トヨタ財団ワークショップ, 東京, 2018.4.14

5. 【研究費】H30 年度

1) 【公的研究費（研究代表者）】

1. 平成 30 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業, 「低出生体重による成人期生活習慣病を含めた疾病負担に関する研究」 森臨太郎 (研究代表者) 1,500 万円
2. 独立行政法人国際協力機構 受託研究費, 「母子手帳が母子保健指標に与える影響の調査」(インパクト調査), 森臨太郎 (研究代表者), 655 万円
3. 成育医療研究開発費 成育医療研究開発費, 「成育データコモンズの構築」, 森臨太郎 (研究代表者), 110 万円
4. 日本医療研究開発機構 地球規模保健課題解決推進のための研究事業, 「低・中所得国における慢性疾患の発症予防と重症化予防の実装のための調査研究-Development of a mHealth-based package targeting women at reproductive age for NCDs prevention」 森臨太郎 (研究代表者), 500 万円
5. 厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業, 「周産期関連の医療データベースのリンケージの研究」 森臨太郎 (研究代表者), 1,220 万円
6. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) (挑戦的研究 (萌芽)), 「小児保健医療の医療経済評価に用いる健康効用評価尺度の開発」 蓋若琰 (研究代表者), 464 万円
7. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 (A), 「バングラデシュ農村の母子保健に対するモバイルヘルスプログラム効果の地域介入研究」 蓋若琰 (研究代表者), 854 万円
8. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (B), 「モンゴルにおける運動が子どもの認知機能や健康状態に与える効果に関する介入研究」, 森臨太郎 (研究代表者), 364 万円
9. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C), 「唾液検体を用いた父親の産後うつへの解明と、労働や QOL に及ぼす影響に関する研究」, 竹原健二 (研究代表者), 300 万円
10. 成育医療研究開発費 成育医療研究開発費, 「無痛分娩における麻酔導入時の胎児徐脈の原因究明、治療法の開発に関する研究」, 山本依志子 (研究代表者), 72 万円
11. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 (A), 「保育の質と安全を保障する、保育施設設置基準の再検討に関する調査研究」 須藤芽衣子 (研究代表者), 221 万円

2) 【公的研究費（研究分担者）】

1. 日本医療研究開発機構 再生医療実用化研究事業 「低酸素性虚血性脳症に対する自己臍帯血幹細胞治療に関する研究 (研究開発担当者: 新宅治夫)」 森臨太郎 (研究分担者), 210 万円
2. 日本医療研究開発機構 成育疾患克服等総合研究事業 「脳性麻痺に対する臍帯由

- 来間葉系細胞治療に関する研究(研究開発担当者:新宅治夫)」森臨太郎(研究分担者), 100万円
3. 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 「自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究(研究代表者:西小森隆太)」森臨太郎(研究分担者), 50万円
 4. 厚生労働科学研究費補助金 成育疾患等克服次世代育成基盤研究事業 「母子の健康改善のための母子保健情報利用活用に関する研究(研究代表者:山縣然太郎)」森臨太郎(研究分担者), 15万円
 5. 厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業) 「"身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究(研究代表者:岡明)」森臨太郎(研究分担者), 250万円
 6. 国立がん研究センター研究開発費「国立高度専門医療研究センター独自の政策調査機能に関する研究」森臨太郎(研究分担者), 50万円
 7. 厚生労働行政推進調査事業費 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 「難病患者の総合的支援体制に関する研究(研究代表者:小森哲夫)」森臨太郎(研究分担者), 代表者一括
 8. 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業 「指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発(研究代表者:和田隆志)」森臨太郎(研究分担者), 代表者一括
 9. 厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 「小児死亡事例に関する登録・検証システムの確立に向けた実現可能性の検証に関する研究(研究代表者:溝口史剛)」森臨太郎(研究分担者), 代表者一括
 10. 厚生労働行政推進調査事業 難治性疾患政策研究事業「小児慢性特定疾病対策の推進に寄与する実践的基盤提供にむけた研究」森臨太郎(研究分担者), 代表者一括
 11. 成育医療研究開発費 成育医療研究開発費 「Asian Neonatal Network Collaboration の立ち上げ準備研究(研究代表者:諫山哲哉)」森臨太郎(研究分担者) 代表者一括

3) 【私的研究費(研究代表者)】

1. トヨタ財団研究助成プログラム(B) 「「イクメン」はわが国の父親のありようの理想像といえるのかー「イクメンブーム」がもたらした影響とそれにより失った何かを問い直すー」竹原健二(研究代表者), 90万円
2. 医療経済研究機構 若手研究者育成研究助成 「医療的ケア児の小児保健医療サービス利用状況に関するレセプトデータ分析」, 須藤茉衣子(研究代表者), 50万円

6. 【その他（教育・広報など）】

1) 【教育活動】

森臨太郎

- 京都大学大学院医学研究科連携大学院客員教授
- 東京大学大学院医学系研究科准教授

2) 【社会貢献】

森臨太郎

- 特定非営利活動法人 日本コクランセンター 理事長
- 公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM 医療情報事業運営委員
- 長崎大学熱帯医学研究所 熱帯医学研究拠点運営協議会委員
- 日本小児科学会 小児医療提供体制委員会委員

蓋若琰

- 受療者医療保険学術連合会 学術委員会委員

3) 【その他の活動】

1. 森臨太郎. 母子保健学特別講義, 聖路加国際大学公衆衛生大学院, 東京, 2018.6.13
2. 森臨太郎. 臨床研究概論, 横浜私立大学大学院医学研究科, 横浜, 講義, 2018.6.20
3. 森臨太郎. Career development I public.global health, 聖路加国際大学公衆衛生大学院, 東京, 2018.11.17
4. 森臨太郎. 「先端医学トピックス」, 神戸大学大学院医学研究科, 兵庫, 講義, 2018.11.20
5. 竹原健二. 「保健医療政策学の実践」, 筑波大学大学院人間総合研究科, 筑波, 2018.11.1.
6. 竹原健二. 「母性看護学援助論 I」「国際母子看護学特論」, 北海道大学保健学科, 札幌, 2018.11.2.
7. 竹原健二. 「研究の質の評価と政策提言」, 淑徳大学大学院看護科学研究科, 千葉, 2018.11.28

4) 【社会活動・貢献】

1. 森臨太郎. 特定非営利活動法人 日本コクランセンター 理事長
2. 森臨太郎. 公益財団法人日本医療機能評価機構 EBM 医療情報事業運営委員
3. 森臨太郎. 長崎大学熱帯医学研究所 熱帯医学研究拠点運営協議会委員
4. 森臨太郎. 日本小児科学会 小児医療提供体制委員会委員
5. 蓋若琰. 受療者医療保険学術連合会 学術委員会委員

5) 【研究所運営への貢献】

- 森臨太郎. 研究企画調整委員会（委員長）、予算委員会、施設整備・共同研究区域、管理委員会、実験動物委員会、図書委員会.
- 蓋若琰. ビデオ教育委員会.
- 竹原健二. 防災対策委員.

7. 【倫理委員会承認研究課題】

- 田中俊之. 小児医療過疎地域における遠隔健康医療相談事業が未就学児を育てる母へ与える影響の検討
- 竹原健二. 産後の父親における唾液中のテストステロンおよびコルチゾールの変化に関するマッチングをともなう前向きコホート研究
- 青木藍. モンゴル国ウランバートル市の二次医療機関における児童・思春期精神疾患に関する研究